

Crematory

火葬場整備を考える

市内8地区の住民説明会を終えて

【火葬場整備住民説明会】

市は、これまでの経緯と火葬場の必要性を市民に理解してもらうため、8月21日から9月3日にかけて、市内8地区で説明会を開催しました。この説明会には314人の出席者があり、市民の皆さんから貴重なご意見を聞き取ることができました。

▼地区別の参加者数

地区	参加者数(人)
池新田	27
高松	40
佐倉	42
比木	42
朝比奈	64
新野	34
御前崎	25
白羽	40

▼住民説明会のようす



【建設候補地検討委員会】

第3回会議が8月6日に開催されました。前回の会議で出された委員の意見を整理したうえで、候補地を大字レベルの区域に設定し、候補地としての適合性を評価しました。

催す予定です。住民説明会の結果や市民の皆さまから寄せられた意見を踏まえ、建設候補地を検討していきます。

▼第3回検討委員会のようす



火葬場整備に関する詳しい情報は、市ホームページをご覧ください。

御前崎市火葬場

検索

第4回会議は、10月上旬に開

照 会 環境課 ☎0537-1162

Atomic

暮らしと原子力

資源エネルギー庁が市に
第5次エネルギー基本計画を説明

資源エネルギー庁の田中将吾エネルギー戦略企画室長ら5人が7月19日、市役所を訪れ、柳澤市長ら市幹部と市議会議員15人に対し、新しいエネルギー基本計画について説明しました。

これは、第5次エネルギー基本計画が7月3日に閣議決定されたことを受け、同月11日に資源エネルギー庁へその概要説明を要請したことにより実現したものです。

エネルギー基本計画は、平成14年6月に制定されたエネルギー政策基本法に基づいて政府が策定するものです。「安全性(S)+安定供給、経済効率性の向上、環境適合(3E)」というエネルギー政策の基本方針のっとり、日本のエネルギー政策の基本的な方向性を示します。

国からは、今回の基本計画



▲国から説明を受ける市議会議員

の中で再生可能エネルギーが主力電源と位置付けられたこと、原子力発電は、安全性の確保を大前提に引き続き重要なベースロード電源(※)として位置付けられているといった説明がありました。

※ベースロード電源：発電コストが安価で、昼夜を問わず安定的に稼働できる電源